

11月9日～15日は秋季全国火災予防運動 「火の用心 ことばを形に 習慣に」

「119番の日」である11月9日から1週間、秋季全国火災予防運動が実施されます。空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節になりました。自分の命や財産、地域を火災から守るため、火の取り扱いには十分注意しましょう。

■子どもたちが描いた防火ポスターを展示します

火災予防運動に合わせ、市内の小・中学校から防火ポスターを募ったところ143点の応募があり、戸松空美さん（泉中2年）が最優秀賞を、安藤かな美さん（駄知小5年）と高木悠聖さん（駄知中2年）が特選を受賞されました。

なお、最優秀賞を受賞した戸松さんの作品は、市の防火ポスターとして各事業所へ配布し、火災予防の啓発に活用します。

このほか、入賞作品を11月1日より下記の通り巡回展示します。ぜひご覧ください。

▷北消防署	11月1日(水)～10日(金)
▷セラトピア土岐	11月11日(土)～20日(月)
▷ウエルフェア土岐	11月21日(火)～30日(木)
▷南消防署	12月1日(金)～10日(日)



戸松空美さんの作品

■設置しましょう！住宅用火災警報器

平成23年6月1日から、全ての住宅に住宅用火災警報器を設置することが義務化されています。住宅用火災警報器は「火災の早期発見」にとっても効果的ですが、市内の設置率は74.4%（平成29年6月現在・一部設置含む）と、全国平均の81.1%に比べて低い状況です。**大切な命や財産を守るため、必ず設置しましょう。**

問 消防本部（☎0123）

暖房器具の取り扱いに注意しましょう

肌寒くなり暖房器具を使用する季節となりました。しかし、暖房器具もその取り扱いを誤ると「思わぬ事故」につながります。使用の際は次のことに十分注意しましょう。

【使用にあたっての注意事項】

衣類などの可燃物の近くで使用しない

◆ストーブの上で洗濯物を乾燥させると、落下したとき、火災となる恐れがあるのでやめましょう。



エアゾール缶などをストーブ、ファンヒーターの近くに置かない

◆エアゾール缶などを使用中の暖房器具の上や近くに放置していると、放射熱や熱伝導で加熱され、破裂・爆発する恐れがあります。

寝るときや外出するときは必ず消火

◆布団などが接触して火災となる恐れがあるので、寝るときや外出するときは暖房器具のスイッチを切る習慣を身に付けましょう。



石油ストーブなどのカートリッジタンクの口金は、確実に締まったことを確認してからセットする

◆給油時は必ず消火し、火が消えたことを確かめてから給油しましょう。

問 消防本部（☎0123）